

パーパス

こだわりの心と、共に先を見据える力で、 人と社会を優しさで満たします

住友重機械グループは、1888年（明治21年）、住友グループの祖業である別子銅山の工作方として創業以来、社会と産業の発展と共に歩んできました。住友グループ各社の共通理念として引き継がれる「住友の事業精神」を堅持するとともに、当社グループの経営理念を重視し、持続的な発展と企業価値の向上を実現することで、ステークホルダーの皆様の期待に応えます。

根本の
思想、哲学

住友の事業精神 THE SUMITOMO BUSINESS PHILOSOPHY

営業の要旨

第一条

我が住友の営業は、信用を重んじ確実を旨とし、以てその鞏固隆盛を期すべし

第二条

我が住友の営業は時勢の変遷理財の得失を計り弛張興廃することあるべしと雖も、苟も浮利に趨り、軽進すべからず

【解説】

1. 住友の事業は、信用を重んじ確実を旨として、その隆盛を期すること。
2. 時勢を見極め、経営資源を活かして積極的に事業展開すべきであるが、如何なる場合にも、浮利を求めて軽率に行動してはならない。

私たちの
存在意義

パーパス PURPOSE

住友重機械グループは、企業の存在意義となるパーパスを2024年1月に策定しました。
このパーパスを経営上の目指すべき「道しるべ」として位置付け、将来のさらなる成長に向けてグループの力を結集します。 <https://www.shi.co.jp/company/purpose/index.html>

私たちの
使命

経営理念 BUSINESS PRINCIPLE

企業使命

一流の商品とサービスを世界に提供し続ける機械メーカーを目指します。誠実を旨とし、あらゆるステークホルダーから高い評価と信頼を得て、社会に貢献します。

私たちの価値観

顧客第一

顧客価値を第一に考え優れた商品とサービスを提供します。

変化への挑戦

現状に甘んずることなく変化に挑戦し続けます。

技術重視

独自の技術を磨き社会の発展に貢献します。

人間尊重

互いを尊重し学び合い成長する組織風土を育みます。

どのように
実現するか

2030年のあるべき姿と中期経営計画2026

2030年のあるべき姿

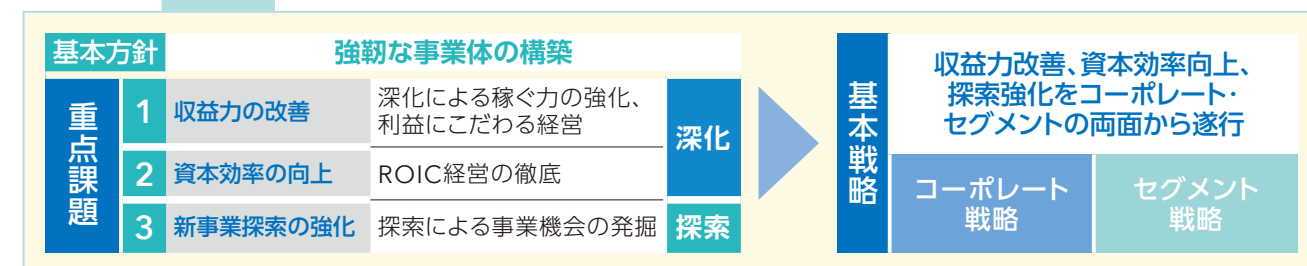
2024年1月にパーパスを策定するとともに、2030年のあるべき姿として、「コア技術で豊かな社会を支え、CSVを実現する企業」と決めました。その実現に向けて、財務・非財務目標を設定するとともに、財務目標の実現に向けては、既存事業の収益基盤の強化、コア技術をベースとした4つの重点投資領域を設けました。

パーパス こだわりの心と、共に先を見据える力で、人と社会を優しさで満たします

既存事業の収益基盤強化とともに、4つのセグメントのコア技術をベースとした以下の重点投資領域を伸長し、新たな価値創造と企業価値向上を目指す。

【重点投資領域】 ◆ロボティクス・自動化 ◆半導体 ◆先端医療機器 ◆環境・エネルギー

企業価値と社会価値の最大化を目指した財務・非財務目標を設定
財務目標では、継続的に資本コストを上回る収益力の達成を目指す



ご挨拶

住友重機械グループは、
こだわりの心と、共に先を見据える力で、
人と社会を優しさで満たします



代表取締役会長

岡村 哲也

代表取締役社長 CEO

下村 真司

統合報告書2025の発行にあたって

住友重機械グループは、1970年代にアニュアルレポートの発行を開始し、2017年以降は統合報告書を発行しています。刊行以来、ステークホルダーの皆様にご理解いただき、皆様との対話における有効なツールとなるよう心がけています。株主・投資家の皆様から頂戴したご意見、ご要望を経営に活かすことはもちろん、情報開示の充実にもつなげています。

現在、当社では2024年1月に策定したパーパスのもと、長期視点である2030年のあるべき姿からのバックキャストで設定した「中期経営計画2026」（中計26）の実現に向けた事業運営を進めています。「統合報告書2025」では、その進捗および事業環境の変化を踏まえて中計26の目標を見直した背景と新たに追加した対応施策に加え、実現に向けた当社の想いや事業戦略の内容を充実させています。加えて、社会価値の向上に向けた各種サステナビリティ活動の取り組みとともに、当社が置かれている現状と今後の見通しを説明しています。特に、「統合報告書2024」以降は、私どもが重視しているサステナビリティ重要課題と各セグメントの事業戦略および業績面との連動性と、その両面での施策の実行状況について開示内容を強化することで、目指す財務価値および社会価値をお伝えしたいと考えています。

本報告書が、皆様の当社グループへのご理解をさらに深めていただく一助となれば幸いです。

編集方針と目次

目次

イントロダクション Introduction

- 1 パーパス
- 2 2030年のあるべき姿と中期経営計画2026
- 3 ご挨拶
- 4 編集方針と目次
- 5 社会を支える住友重機械グループの製品群
- 7 事業ポートフォリオの変遷
- 8 中期経営計画の歴史

価値創造ストーリー Value Creation Story

- 9 社長メッセージ
- 15 価値創造プロセス
- 17 住友重機械グループの価値創造
- 19 7つのサステナビリティ重要課題

成長戦略 Growth Strategy

- 21 中期経営計画2026
- 26 財務資本／CFOメッセージ
- 31 知的資本／技術本部長メッセージ
- 33 DX戦略
- 35 製造資本
- 37 セグメントハイライト
- 39 メカトロニクスセグメント
- 41 インダストリアル マシナリーセグメント
- 43 ロジスティクス & コンストラクションセグメント
- 45 エネルギー & ライフラインセグメント

サステナビリティ Sustainability

- 47 環境への取り組み
- 48 気候変動リスクへの対応
- 50 TCFD提言に基づく情報開示
- 51 生物多様性保全／自然資本への取り組み
- 53 人事本部長インタビュー
- 55 人材戦略
- 58 人権
- 59 責任ある調達
- 60 ステークホルダーエンゲージメント／地域との共存・共栄

コーポレート・ガバナンス Corporate Governance

- 61 社外取締役インタビュー
- 65 コーポレート・ガバナンス体制
- 67 取締役会に必要な資質／取締役会に必要な資質の選定理由／執行役員の情報
- 69 取締役会議長メッセージ
- 70 役員報酬／サクセッションプラン
- 71 取締役会実効性評価／監査役会
- 72 サステナビリティ経営
- 73 リスク管理
- 74 コンプライアンス

コーポレートデータ Corporate Data

- 75 11年間の主要財務データ
- 77 主要非財務データ
- 81 会社概要／株式関連情報
- 82 社外からの評価

編集方針

住友重機械グループでは、1970年代より「アニュアルレポート」を発行してきましたが、中長期的な取り組みを理解していただくため、2017年度より「統合報告書」を発行しています。「統合報告書2025」では、財務および非財務情報のみならず、住友重機械グループ独自の強みや中長期的な成長の源泉などについて、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にご理解を深めていただくことを目指しています。財務情報（有価証券報告書など）や非財務情報（サステナビリティ関連データなど）の詳細な情報や数値は、当社ウェブサイトをご覧ください。

■対象範囲

住友重機械工業（株）および連結子会社141社（国内36社、海外105社）を対象としています。なお、対象が異なる場合は、その旨を記載しています。

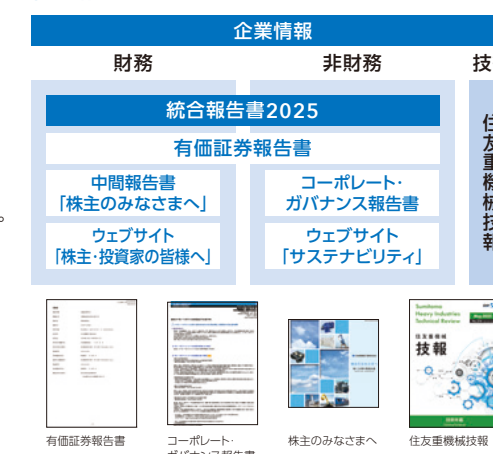
■対象期間

海外子会社1社を除き、2024年度（2024年1月1日～2024年12月31日）を対象期間としています。なお、一部対象期間外の内容も含まれています。

参考ガイドライン

- ・IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- ・GRIスタンダード
- ・WICI「インタンジブルズ報告フレームワーク ver.1.0」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス」

統合報告書2025の位置付け



将来予測に関する注意事項

「本報告書」に記載されている将来の業績に関する予測や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。従って実際の業績は、さまざまな要因の変化により、記載の予測・見通しとは異なる場合があります。

社会を支える住友重機械グループの製品群

住友重機械グループの製品群は、オフィスビルやマンション、商業施設、病院などの身近な生活シーンに加え、世界中の港湾、建設現場、工場、倉庫などの幅広い産業活動を支えるシーンにおいて活躍しています。



食品工場

減速機

モータの回転速度を最適な速さに減速し、回転力を高める減速機は、エレベータ、エスカレータ、産業ロボットや工場の生産ラインなど、あらゆるところで使用されています。



サイクロ®減速機

詳細は「メカトロニクスセグメント」(▶P39)へ

半導体工場

イオン注入装置

スマートフォン・生活家電など、身の回りにある電化製品に搭載されている半導体を製造するための重要な装置の一つです。半導体の微細化に伴う最先端の技術でモノづくりを支えています。



高エネルギーイオン注入装置

詳細は「インダストリアル マシナリーセグメント」(▶P41)へ

オフィス(パソコン)

プラスチック加工機械(射出成形機)

超精密で難易度の高い成形を得意とするプラスチック射出成形機は、CD・DVD、パソコンやスマートフォンなどの電子部品やレンズ、スイッチ類、医療系部品、ペットボトルなど生活に欠かせないプラスチック製品の成形に使用されています。



超高速・高応答全電動射出成形機

詳細は「インダストリアル マシナリーセグメント」(▶P41)へ

病院

医療用MRI向け 極低温冷凍機

ヘリウムガスの圧縮と膨張を利用し、-269℃の極低温まで冷却できる装置です。医療用MRI向けの極低温冷凍機は、世界で90%以上の圧倒的なシェアを持っています。



4KGM冷凍機

詳細は「メカトロニクスセグメント」(▶P39)へ

病院

陽子線がん治療装置

陽子線の特性を活かした陽子線がん治療装置は、がん病巣のみに十分な線量を投与することができます。さまざまな疾患の適用も進み、国内外で脚光を浴びています。



陽子線治療システム

詳細は「インダストリアル マシナリーセグメント」(▶P41)へ

洋上風力発電

洋上風力発電設備の基礎構造物など

近年、地球温暖化対策への意識が高まる中、当社は脱炭素エネルギー領域への事業拡大を積極的に進めており、大型ドックを活用した洋上風力発電設備の基礎構造物や関連船舶などの事業化を進めています。



海洋構造物イメージ

詳細は「エネルギー & ライフラインセグメント」(▶P45)へ

バイオマス発電所

循環流動層(CFB)ボイラ発電プラント

石炭以外に、利用されない樹木(間伐材)や椰子殻など植物由来の燃料であるバイオマス燃料を用い、高い効率で発電し、CO₂発生を削減しています。



循環流動層(CFB)ボイラ

詳細は「エネルギー & ライフラインセグメント」(▶P45)へ

倉庫

物流システム

タグやバーコードなどによる在庫管理や出荷まで一連の流れをシステムで管理することができ、省人化や作業の安全性・効率化に貢献しています。



自動倉庫

詳細は「ロジスティックス & コンストラクションセグメント」(▶P43)へ

建設現場

油圧ショベル

独自技術の安全性を備え高性能で高品質を実現したショベルは、暮らしに不可欠なライフラインの整備や、さらに交通網や通信網などのインフラ整備など幅広い分野で活躍しています。



油圧ショベル

詳細は「ロジスティックス & コンストラクションセグメント」(▶P43)へ

港湾

遠隔操作RTG*

港湾などで、コンテナの搬送に使用される自走式クレーンです。遠隔自動RTGシステムにより、コンテナヤードから離れた遠隔操作室でオペレーターが必要な操作・監視を行うことにより、遠隔自動での運転が可能です。

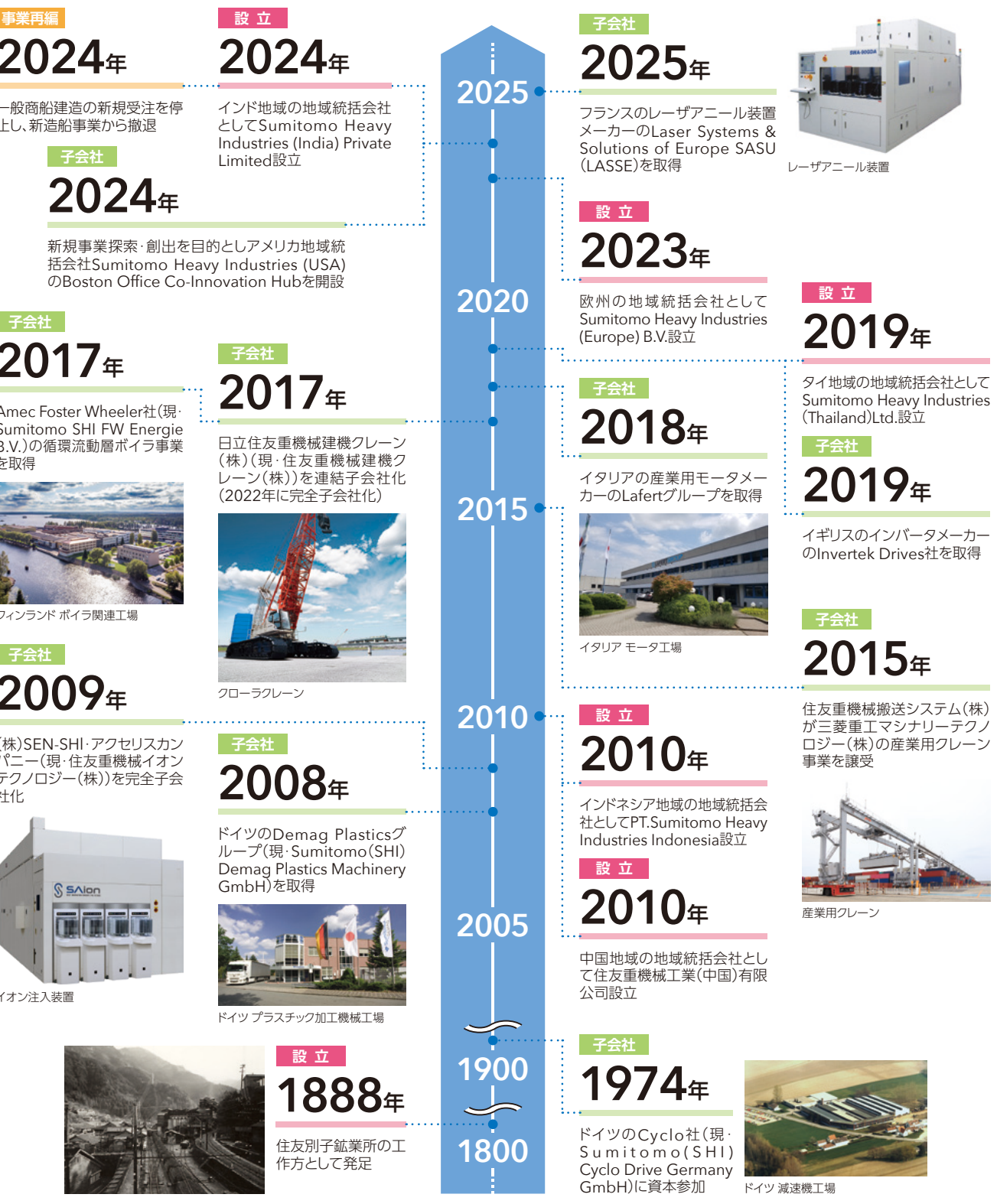


※Rubber Tired Gantry crane 遠隔操作RTG

詳細は「ロジスティックス & コンストラクションセグメント」(▶P43)へ

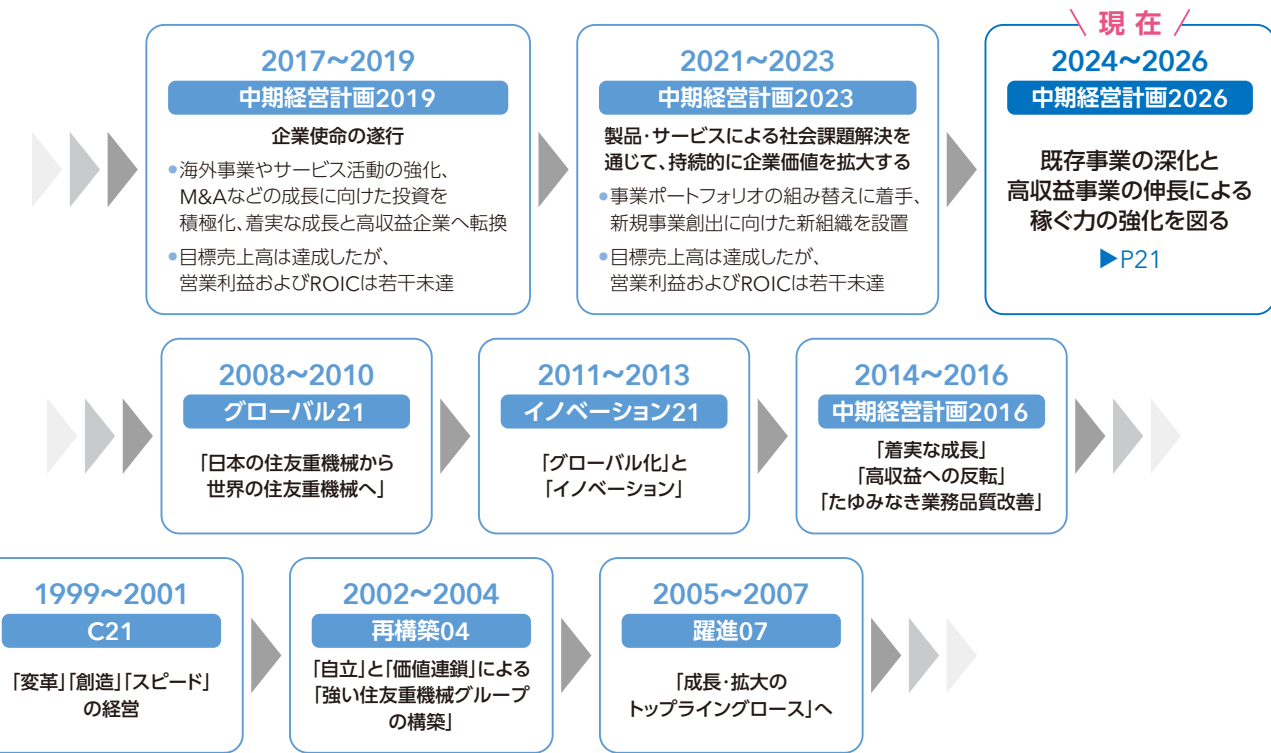
事業ポートフォリオの変遷

住友重機械グループは、住友グループの中核モノづくり企業としてのDNAを引き継ぎ、製品・サービスの提供を通じて、お客様や社会が抱える課題解決に取り組んでまいりました。2024年度にスタートした「中期経営計画2026」では、事業ポートフォリオ改革に着手し、4つの「重点投資領域」へ経営資源を集中することで事業拡大を図ります。一方、「収益低迷事業」では抜本的な収益力の改善施策を実施しつつ、「戦略を再構築する事業」では構造改革を実行します。



中期経営計画の歴史

住友重機械グループの連結売上高は、過去最高を更新しつつ成長基調にあります。営業利益およびROICに伸び悩みが見られます。現中計では、稼ぐ力を強化し、利益にこだわったROIC経営の実行と事業機会の探索を図ることで、2030年のあるべき姿の実現に向けて、次期中計につなげる方針です。



連結売上高、営業利益およびROICと時価総額の推移

